

## 謝辞

この論文は、多くの方々のご協力により完成することができました。この場を借りて、厚く御礼申し上げたいと存じます。

まず、学部から現在に至るまで日ごろより、始終暖かいご指導とご教示を頂いた指導教官の吉田妙子先生に何より心から感謝いたしたいと思います。先生の励ましと助言のおかげで、論文を無事に完成させることができました。また、先生はテーマ発表会や中間発表の前の勉強会で、コロッケやお寿司などおいしい料理を作ってくださいるなど、学問の面だけではなく生活の面でも大変お世話になりました。

「研究テーマは身の回りに溢れている。」といつも励ましてくださいました蘇文郎先生には、学部の三年生から大学院にかけて、語学の面白さを教えていただきました。

私の論文審査していただいた、台湾大学の林慧君先生には、私自身が気付かなかった点を指摘していただき、貴重な助言を頂戴いたしました。心から御礼申し上げます。

お忙しいところ、論文要旨の英訳を助けてくださった東呉大学の翟翠翎先輩に感謝いたしております。

一緒に励まし合ったり、悩んだりした語学専攻の仲間たち—林さん、陳君、呉さん、王さん、横山さん—、文献などをコピーしてくれた後輩たち、皆と一緒に勉強し研究できたことは本当に幸せです。大阪から大切な先行研究をコピーし、送ってくれた王さんと呉さん、論文を読んでアドバイスしてくれた横山さん、論文の印刷を手伝ってくれた王さん、皆さんにはいろいろお世話になりました。

また、大学時代から、いつも私を見守ってくださった政治大学の先生方、事務の面で、支えてくださった助手の頼さんに感謝の意を表したいと思います。

最後に、私が大学院に進学することに対して、常に理解と献身的な協力をしてくれた家族に感謝いたします。

この論文は、これらの人々の協力と支えがなければ、このように順調には進みませんでした。ひとえに皆様方のおかげです。まだ未熟なものですが、この論文を皆様に捧げたいと思います。